

「みどりの保育園」でクロマツの歌を合唱

平成22年2月15日(月)酒田市の西荒瀬保育園において、当朝日庄内森林環境保全ふれあいセンターと連携して実施している「みどりの保育園」推進事業の一環として「クロマツの歌」などのミニコンサートを行いました。

これは昨年11月28日(土)に酒田市で開催された「クロマツシンポジウム」での演奏を聴いた保育士の先生達の「是非、園児にも歌わせたい」との要望に応じて実施したものです。

歌唱指導は、山形県庄内支庁森づくり推進室長補佐で、「庄内海岸のクロマツ林をたたえる会」会員、「日和山楽団」メンバーでもある梅津勘一氏に依頼し、年度末のお忙しい中にもかかわらず、快く引き受けて頂きました。

今回のミニコンサートには年長組と年中組の62名が参加し、大きな紙に書かれた歌詞を見ながら大きな声で一生懸命に合唱して、歌を覚えようと大健闘しました。

園児達のリズム感や梅津氏も驚くほど豊かで、2回の歌唱指導でメロディを覚え、3回目には全員で合唱できるまでに上達しました。

今回は時間の都合で「クロマツの歌」と「庄内米の歌」の二曲しか覚えることが出来ませんでした。機会があれば「森づくりの詩」など他の歌も覚えたいとの要望もあり、来年度も継続して実施する予定です。

園児達には「森づくり」や「野外活動」だけでなく、森林文化の継承者としても立派に活動できる大人になってもらいたいとの願いを込めて、今後も森林文化活動も含めた森林環境教育を行いたいと考えています。



梅津補佐のギターとハモニカによる歌唱指導とミニコンサート